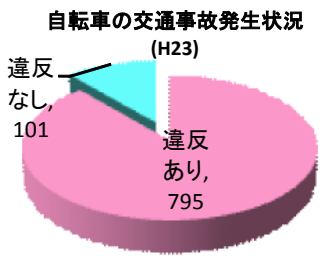
忘れないで!! 自転車の交通ルール

自転車は、便利で手軽で環境に優しい乗り物です。けれども乗り方を誤れば重大な事故につながります。

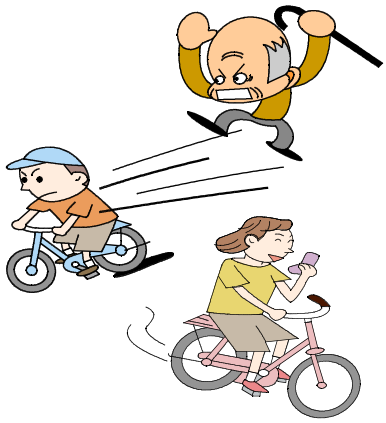
自転車乗用中、交通事故に遭った人の約8割に違反がありました。悲惨な事故の被害者にも加害者にもならないように「自転車安全利用五則」を守った運転を、お願いします。



○ 自転車安全利用五則

① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
② 車道は左側を通行
③ 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
④ 安全ルールを守る
- 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
- 夜間はライトを点灯
- 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認

⑤ 子どもはヘルメットを着用

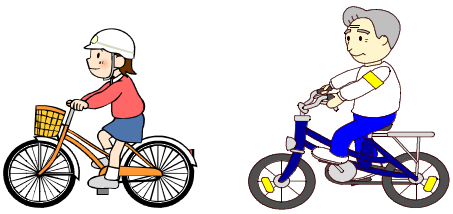


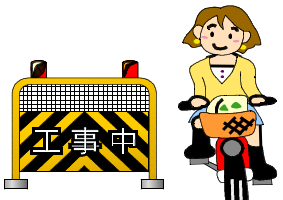
自転車が歩道を通行できるのは、こんな場合です。

（法第６３条の４）

「自転車歩道通行可」の標識がある歩道

１３歳未満の幼児や児童、７０歳以上の者、身体が不自由な人が運転する場合

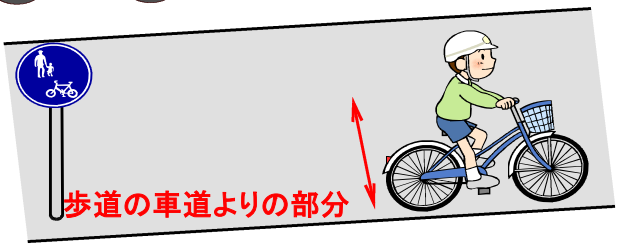




車道や交通の状況からみてやむを得ない場合

道路標示で「普通自転車通行指定部分」がある場合はその部分を、指定部分がないときは歩道の車道よりの部分を安全な速度と方法で通行しましょう。

歩行者の通行を妨げそうなときは、一時停止するか自転車を降りて押すなどの方法で歩行者を保護しましょう。



（平成２４年･自転車利用者向け交通安全スローガン）

自転車も
安全速度と 気配りを

文字をクリックしてください。

自転車のルールの詳細については、
自転車の安全利用の推進
(警察庁ホームページ)へ

自転車の違反にも、罰則があります。

飲　酒　運　転

（法第６５条）

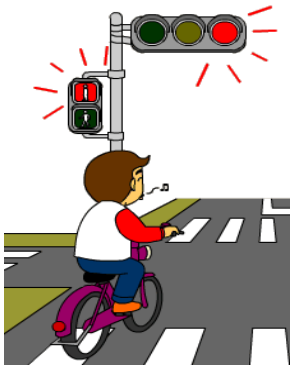
５年以下の懲役又は100万円以下の罰金

お酒を飲んで自転車を運転してはいけません。

信　号　無　視

（法第7条）

３月以下の懲役又は
５万円以下の罰金



信号無視をしては
いけません。

携帯電話使用運転

（法71条・細則14条）
５万円以下の罰金

携帯電話の使用やヘッドホンで音楽等を聞きながら、自転車を運転してはいけません。

傘さし運転

（法71条・細則14条）
５万円以下の罰金

傘をさして運転してはいけません。

無灯火運転

（法第52条・令18条・細則11条）
５万円以下の罰金

夜間、ライトや尾灯をつけないで自転車を運転してはいけません。
（反射材もつけましょう。）

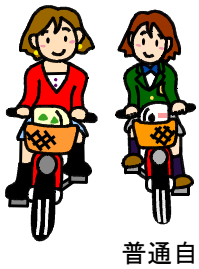
二人乗り運転

（法第57条第2項・細則12条）
２万円以下の罰金又は科料

二人乗りをしてはいけません。
（ただし、16歳以上の者が6歳未満の者１人を幼児用座席に乗車させ、又は、４歳未満の者を背負いひも等で確実に緊縛している場合を除く。）

並進運転

（法第19条）
２万円以下の罰金又は科料



２台以上並んで運転してはいけません。
（ただし、普通自転車並進可の標識がある道路を除く。）

普通自転車「並進可」の標識→

自転車は、車の仲間です。責任ある行動を！

＊「法」は道路交通法を、「令」は道路交通法施行令を、「細則」は徳島県道路交通法施行細則を指します。